

各 位

鉛電解工程の復調について

当社グループが営む鉛製錬事業については当社子会社である東邦契島製錬(株)にてその製造機能を担っておりますが、主要工程である電解工程（電気分解により鉛を精製する工程）において、電流効率の悪化等により近年鉛電解製品の生産量を落としており、特に2023年において大きく生産減となっております。

今般、2023年11月中旬に適正な電流効率や操業条件への回帰を図るための抜本的な対策を実施しました。対策後の状況は概ね想定通りに推移しており、これにより12月以降順次復調し、今後の生産量については不調となる以前の水準（需給影響を除く）へと回復する見込みとなりましたことをお知らせいたします。

2021年度 鉛電解製品生産量 (単位：千トン)

	1Q	2Q	3Q	4Q ^{*1}	通期
当初計画	23.5	24.4	24.5	17.6	90.0
実績	23.3	22.9	22.8	15.6	84.7
差異	▲0.2	▲1.5	▲1.7	▲2.0	▲5.3

2022年度 鉛電解製品生産量 (単位：千トン)

	1Q	2Q	3Q	4Q ^{*1}	通期
当初計画	25.1	25.4	25.4	12.1	88.0
実績	22.8	23.8	21.6	9.9	78.1
差異	▲2.3	▲1.6	▲3.8	▲2.2	▲9.9

2023年度 鉛電解製品生産量 (単位：千トン)

	1Q	2Q	3Q ^{*2}	4Q ^{*1}	通期
当初計画	21.2	21.8	22.7	17.3	83.0
実績見込み (2Qまで実績)	16.8	17.0	19.1	17.3	70.1
差異	▲4.4	▲4.8	▲3.6	0.0	▲12.9

(*1) 4Qは例年1ヵ月間の定期修繕実施により他Qに比べて生産量減となる（2022年度は1.5ヵ月間の大型定修）

(*2) 11月中旬の対策以降、電流効率等の改善により当初計画並みの生産量へ復調

以 上

[本件に関するお問合せ先]

東邦亜鉛株式会社 サステナビリティ推進本部 経営企画部

TEL：03-6212-1714

お問合せフォーム：<https://www.toho-zinc.co.jp/inquiry/>